

大会名称: **東日本大震災復興支援
第10回全日本社会人バスケットボール選手権大会**

開催場所: **酒田市国体記念体育館 Bコート**

試合区分: **No. 208 女子 決勝**

期 日: **2014(H26)年11月3日(月)**

主審: **針生 淳男**

開始時間: **14:40**

副審: **山田 俊, 小田中 涼子**

山形銀行		○	20 - 19 15 - 9 22 - 13 20 - 15 - -					●	鶴屋百貨店						
(実業団1)		77						56	(実業団3)						
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		相澤 妹佳	0	0	0	0	0	4	*	伊藤 恵夢	6	2	0	0	2
5	*	佐藤 綾香	15	0	7	1	5	5		内田 結日	-	-	-	-	-
6	*	赤川 愛	16	0	8	0	2	6	*	田中 愛巳	0	0	0	0	4
7		熊谷 菜奈	0	0	0	0	0	7	*	坂田 奈菜実	11	1	4	0	2
8		渋谷 実菜子	3	0	1	1	4	8		松岡 和泉	2	0	1	0	1
9	*	佐藤 優香	12	0	3	6	2	9		小林 亜里奈	-	-	-	-	-
10	*	阿部 愛美	16	0	5	6	1	10	*	瀬井 香織	14	0	4	6	4
11		青山 彩七	6	0	3	0	0	11		上野 綾菜	2	0	1	0	1
12		中村 早希	4	0	0	4	0	12	*	米村 知紗	3	1	0	0	4
13		岩井 萌	-	-	-	-	-	13		野尻 絢那	0	0	0	0	1
15	*	倉永 あずさ	5	0	2	1	1	14		村木 花奈	-	-	-	-	-
								15		濱本 愛梨	18	3	4	1	4
								16		養田 小百合	-	-	-	-	-
								17		後藤 夏実	-	-	-	-	-
コーチ		福島 雅人 / TEAM						コーチ		村上 好美 / TEAM					
		合計	77	0	29	19	15			合計	56	7	14	7	23

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

女子決勝。山形銀行対鶴屋百貨店。山形銀行はゾーンとマンツーマンのチェンジングディフェンス、鶴屋百貨店はマンツーマンディフェンスで試合が始まる。山形銀行は立ち上がりから#9佐藤優のドライブイン、#5佐藤綾のゴール下、#10阿部のドライブで得点する。対する鶴屋百貨店も#10瀬井、#7坂田のゴール下、#15濱本の3ポイントで得点を重ね、決勝戦らしい迫力ある試合が展開される。一進一退の攻防が続く中、山形銀行#10阿部のジャンプシュート、一方鶴屋百貨店は力強いリバウンドシュートが決まり、1Pは20-19で山形銀行リードで終了。

2P、両チームとも激しいディフェンスで攻撃のリズムをつかもうとするが、鶴屋百貨店は連続してファウルがかさんでさんでしまう。差を広げたい山形銀行だったが、思うように得点が伸びない。対して鶴屋百貨店がゾーンを崩し、確実に得点を重ねる。お互いシュートを放つが、粘り強い好ディフェンスのため得点が決まらないままロススコアで試合を展開し、35-28で山形銀行がリードし前半終了。

3P、突き放しにかかる山形銀行は#6赤川のドライブインやジャンプシュートや#5のゴール下のプレーにより再びリードを広げる。ディフェンスのチェンジングを巧みに利用する山形銀行に対し、鶴屋百貨店は苦しいシュートやターンオーバーが目立ち流れをつかめないまま57-41で3P終了。

4P、開始早々鶴屋百貨店はオールコートマンツーマンプレスをしかけ、プレッシャーを強める。しかし、山形銀行#5佐藤綾・#6の巧みなプレーで勢いを増し、点差を広げる。鶴屋百貨店は#15濱本のドライブイン、#4伊藤の3ポイントで奮闘するが、スクリーンをうまく使い多彩な攻撃を行った山形銀行が77-56で勝利した。